

地域防災の推進に向けたオープンデータを活用した災害リスクの可視化

関連キーワード: ハザードマップ ・ 地域防災 ・ オープンデータ ・ 災害リスク

研究内容

◆ 研究の視点

誰でも自由に複製・加工が可能、容易にアクセスができるオープンデータに着目

自治体が公表するオープンデータの可視化

◆ 研究の方法

GISを用いて、社会福祉施設等の位置を把握し、そこにオープンデータとして公開されている各種ハザードマップ（津波・地震・土砂崩れ・洪水）のデータとの重ね合わせから、自然災害リスクを可視化していく。

◆ 得られる効果

容易に身近な自然災害リスクを把握することが可能となり、避難計画の立案に寄与する

◆ 研究の成果の公表状況

1) 渡邊圭・橋本陽介・石内鉄平
「オープンデータを活用した要配慮者施設における防災計画立案に関する研究」
日本災害復興学会2019年度鳥取大会報告

2) 石内鉄平・渡邊圭・橋本陽介
「障がい者福祉施設を対象とした災害時対策に関する研究—宮城県仙台市の施設における災害対応マニュアルに着目して—」
環境情報科学論文集,35号,250-255.

ハザードマップの重ね合わせイメージ



研究者プロフィール

・情報学部データサイエンス学科 専任講師 渡邊 圭

・専門分野 災害福祉、地域福祉

・研究分野 地域防災、災害福祉

・所属学会 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会

・主な経歴

➢ 東北福祉大学大学院総合福祉学研究科博士課程修了（博士社会福祉学）

➢ 土木学会 土木情報学委員会（2023年～）

「災害弱者に向けた情報通信技術を活用した防災・減災技術研究小委員会・委員」

➢ セッカ浜社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会（2013年・2015年）

「セッカ浜町地域福祉活動計画策定委員会・委員（第2期計画・第3期計画）」

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

✓ 地域防災の推進

地域の自主防災組織や町内会などの地縁組織を対象として、オープンデータを活用した形での防災ワークショップの企画・運営のサポートを行います。



研究者への連絡先

E-mail k-watanabe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp